

よっかいち 市議会だより

6月定例会議会号

挑み続ける**金メダリスト**。

アジア大会へ

本市の観光大使

藤波朱理選手

特 集

数字から見る四日市市議会 p.2~3



市議会 HP
情報発信中！

数字から見る 四日市市議会

さまざまな数字から
市議会の仕組みを
紹介します



定例会の回数

1回
通年議会

令和7年定例会の会期

352日



四日市市議会では、ほぼ1年間を会期とする定例会を年1回開催する「通年議会」を採用しています。令和7年定例会の会期は352日間で、会期を通年とすることで、災害などの突発的な事件や緊急の行政課題に対応ができるようにしています。

この会期のうち、毎年2月、6月、8月、11月に会議が開かれることになっており、これを「定例月議会」といいます。そのほか、定例会の開会に際して「開会議会」が、必要に応じて「緊急議会」が開かれます。

令和7年定例会の
代表質問と一般質問の延べ
質問者数

98人

各定例月議会では、議員が市政の諸課題や将来への展望などについて市の考えをただす「一般質問」が行われます。また、各会派が市長の施政方針について質問する「代表質問」が2月定例月議会などで行われます。

どちらの質問も、ケーブルテレビでの中継に加えて、インターネットでの配信も行っています。

令和7年定例会で議決した
議案の数

192件



市議会では条例の制定や廃止、改正のほか、予算や決算などの議案について、議員が賛成・反対の意思表示を行い、最終的に決定します。

常任委員会の数

6委員会

令和7年定例会での
常任委員会の延べ開催日数

99日



市議会が扱う案件は多岐にわたるため、これらを部門ごとに分けて専門的・能率的に審査する六つの「常任委員会」を設置しています。

常任委員会は議案の審査以外に自主的に調査事項を設定し、それぞれの所管事務について集中的に調査を行うこともあります。

また、委員会の会議は、YouTubeで配信しています。

総務常任委員会	市政の企画、財務、危機管理、消防などに関する事項
教育民生常任委員会	教育、こども、健康福祉などに関する事項
産業生活常任委員会	商工業、農業、市民文化、市立病院などに関する事項
都市・環境常任委員会	道路、上下水道、環境衛生などに関する事項
予算常任委員会	予算に関連する事項
決算常任委員会	決算に関連する事項

令和7年定例会の
本会議の傍聴者数

434人

本会議や委員会の傍聴をご希望の方は、市役所11階の東南側にある受付までお越しください。

なお、開催日程は、市議会ホームページをご覧ください。議会事務局までお問い合わせください。

令和7年度の
SNSの更新回数

217回

四日市市議会では、SNSで市議会のさまざまな情報を発信しています。

ぜひフォローしてください。

Facebook



Instagram



6月定例月議会の概要

6月5日から7月1日までの27日間で開催しました。
市長提出の16議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、議員提出議案2件を原案のとおり可決したほか、請願については1件を採択しました。

日 程

6月	5日	本会議 初日	6月	19日	各常任委員会／予算常任委員会各分科会 (総務、教育民生、産業生活、都市・環境)	
	12日	本会議 (一般質問)		25日	予算常任委員会全体会	
	15日					
	16日	本会議 (一般質問) 産業生活常任委員会	7月	1日	本会議 最終日 予算常任委員会総務分科会 予算常任委員会教育民生分科会 予算常任委員会全体会	
	17日	本会議 (一般質問)				
	18日	本会議 (一般質問、ほか)				

議 決 結 果

【全会一致で可決された議案】

番 号		市 長 提 出 議 案
議 案	2	令和8年度 一般会計補正予算 (第2号)
	3	市税条例等の一部改正について
	4	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	5	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	6	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	7	宮妻峡キャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定について
	8	都市計画法関係手数料条例の一部改正について
	9	工事請負契約の締結について - 北大谷斎場火葬炉等更新工事 (1期) -
	11	工事請負契約の変更について - 泊小古曽線 (社交) 道路改良工事 -
	12	工事請負契約の変更について - 堀川放水路整備工事 -
	13	動産の取得について - 小型一般ゴミ収集車 4台 -
	14	動産の取得について - 真空冷却機 北部7台 -
	15	動産の取得について - 真空冷却機 南部7台 -
	16	市道路線の認定について
	17	令和8年度 一般会計補正予算 (第3号)

番 号		議 員 提 出 議 案
発 議	6	イラン情勢に伴う物価高騰等の対策を求める意見書の提出について
	7	自衛官等に対する偏見及び差別助長の解消並びに理解促進を図る決議について

番 号		請 願
請 願	1	四日市の文化・経済・まちづくりの発展のため、「学生将棋のまち四日市」としてのシティプロモーションを求めることについて

【賛否が分かれた議案】

番 号		市長提出議案	議 決 結 果	
議 案	10	工事請負契約の締結について - 近鉄四日市駅周辺 (四日市中央線) 整備工事 (その18) -	原案可決	賛成多数

会 派 議 員 名 番 号	議 決 結 果	賛・反 成・対	政友クラブ							新風創志会					フューチャー四日市					公明党			市民目線 の会		無会派 日本共産党											
			伊藤 嗣也	荻須 智之	上村 幸康	川村 幸康	笹井 絹予	笹岡 秀太郎	日置 記平	森川 康哲	森川 慎	石川 善己	谷口 周司	辻裕 登	早川 新平	平野 貴之	諸岡 覚	山田 知美	伊世 利子	小田 あけみ	加納 康樹	後藤 純子	竹野 兼主	樋口 龍馬	村山 繁生	荒木 美幸	中川 雅晶	樋口 博己	森口 智子	山口 博也	小林 博次	田中 徹	水谷 一未	太田 紀子	村上 厚美	今村
議案第 10 号	原案可決	27：6	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成 ×は反対 ※ 議長（中川雅晶）は採決に加わらない。

委員会審査

常任委員会の審査で出された主な意見等の概要をお知らせします

教育民生常任委員会

国の法改正による保育事業者等への影響は

◆家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 など

問 小規模保育事業等において言語聴覚士等の専門職も保育士として数えることができるようになるが、保育士不足の本市として、専門職の配置を拡充する予定はないのか。

答 市内の公立園、私立園においては、あけぼの学園の専門職による巡回相談により十分に現場のサポートができており、保育士の代わりとして専門職を各園に常駐させることは考えていない。

問 児童対象性暴力等の防止に関する措置、いわゆる「日本版DBS」の対象施設には、学童保育所も含まれるのか。

答 学童保育所は任意の認定対象事業所に区分される。

意見 学童保育所においても人材の確保等が困難な状況であり、今回の制度変更についても十分に周知してほしい。

において大規模修繕は市が行い、日常修繕は指定管理者が行う予定である。

問 災害が発生した際の避難場所として活用できると考える。アクセス道路の寸断による孤立の可能性を想定し、収容人数や備蓄などの検討を行うのか。

答 現時点で避難場所としての指定はされていないが、野営スペースもあるため利活用は可能であると考えられる。災害時の対応についても今後検討したい。

都市・環境常任委員会

あすなろう鉄道利用者の乗り換え時間は

◆工事請負契約の締結 ―近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事（その18）―

問 よんまるテラスと近鉄四日市駅をつなぐ連絡通路が完成した。あすなろう鉄道利用者からは乗り換えに要する時間が長くなるなどの声が上がっているが、対策は講じているのか。また、近鉄が進めるあすなろう四日市駅の西口整備との連携はどうなっているのか。

答 あすなろう鉄道沿線を中心とした連合自治会や高校に計画の周知を図り、一定の理解を得ていると考えている。また、市の広報でも乗り換え動線変更を周知した。あすなろう四日市駅の西口整備については、近鉄四日市駅とあすなろう四日市駅をつなぐ連絡通路の撤去後に近鉄が工事を行う予定であり、現在、設計を進めている。



よんまるテラスと連絡通路

産業生活常任委員会

災害時のキャンプ場の活用は

◆宮妻峡キャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定

問 10年間という長期の指定管理期間によるデメリットはないのか。また、期間中に突発的な大規模修繕が発生した場合の対応はどうなるのか。

答 業者からの聞き取りでは、周知や運営を軌道に乗せるためには10年程度の期間が必要であるとの意見を得ており、適切な期間であると考えている。修繕については、基本協定等に

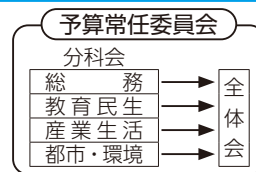


総務常任委員会

◆市税条例等の一部改正については、別段、質疑および意見はありませんでした。

予算常任委員会

予算は、まず、四つの分科会で詳細に審査を行います。その後、全体会で各分科会から審査の経過と結果を報告し、必要な事項については全体会でさらに議論を深めます。



予算常任委員会分科会

総務分科会

災害を想定した定期的な維持管理を

◆防災行政無線連動型鍵ボックス整備事業

問 防災行政無線連動型鍵ボックスの鍵がJアラートと連動し、自動で確実に開錠されるよう、どのように管理していくのか。

答 2年に1回の保守点検を実施するほか、地域における防災訓練や、Jアラートの全国一斉情報伝達試験の機会を活用して開錠の動作確認を行っていく。

止水板等の設置を補助するための予算措置を

◆止水板等設置補助金

問 補助金の申請件数や補助金額が、想定を大きく上回ったことを受けた補正予算だが、当初予算を算出した根拠を確認したい。

答 令和7年9月の大雨による浸水被害の件数や止水設備のない地下施設の状況、災害救助経費として支出した生活必需品の支給実績などを基に算出している。

意見 今後は適切な予算要求に努めてほしい。



止水板

教育民生分科会

生成AIを活用した情報活用能力の向上を

◆生成AIパイロット校事業

問 生成AIは誤った情報を生成することもあり、子どもたちにとってマイナスに働くことも懸念されるが、どのように対応していくのか。

答 生成AIを使うこと自体を目的とせず、生成AIを活用する中で、情報活用能力や情報モラルを身につけることが大切であることを指導するよう全校に働きかけている。



産業生活分科会

あさけプラザの計画的な保守点検を

◆あさけプラザ舞台関係設備更新工事費

問 施設全体が老朽化しているが、舞台以外の設備や躯体の安全性は大丈夫か。今回の休止期間を活用し、専門的な点検を行い、必要な修繕を同時に進めるべきではないか。

答 音響や照明は業者による点検を行っており、外壁塗装などはアセットマネジメント計画に沿って随時実施している。休止期間に合わせて他部分の修繕も並行して検討していく視点は重要であり、今後の施設運営に生かしていく。

意見 今後も利用者の負担を最小限に抑えるよう努めてほしい。



あさけプラザ

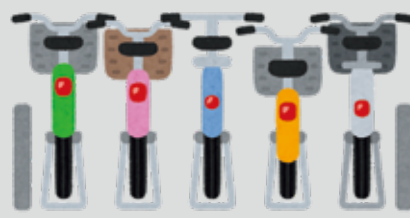
都市・環境分科会

指定管理者制度導入の効果は？

◆放置自転車対策事業費

問 放置自転車について、年間の撤去台数、処分台数および処理の流れを確認したい。また、利用可能な自転車は再利用するのか確認したい。

答 令和7年度に放置禁止区域で撤去した台数は179台であり、99台を所有者に返還している。撤去した自転車は、3カ月間保管したのち、引き取りのない自転車については、状態に応じて有効活用を図っており、69台は売却し、5台はレンタサイクルとして活用している。また、著しく破損していた6台については破砕処分とした。



一 般 質 問 を し た 議 員 と 項 目 (質 問 順)		
荒木 美幸	。	人口減少社会におけるフェーズ・フリーの推進について
山口 智也	。	身寄りのない高齢者を支える「入口～出口の一体支援体制」の構築について
森 智子	。	英語教育のさらなる推進について
上 麻理	。	職員のエンゲージメント（仕事への前向きな関与・やりがい）の向上、何が不足しているか 。循環型社会の未来、四日市はどう考える
笹井 絹予	。	防災・交通・福祉の課題解決に向けた市民サービス向上について
森川 慎	。	市役所庁舎内の空調管理について 。原油、ナフサ等不足の現状について
伊藤 嗣也	。	市民の暮らしを守るための支援強化について
森 康哲	。	地域包括支援センターと在宅介護支援センターの役割の違いについて
荻須 智之	。	ロングビーチ市において、歴史認識に関わる政治的モニュメントが公共空間に設置される ことの無いように、本市が行ったことは？ 。P F O S ・ P F O A 汚染対策と新たな特別措置法の制定について 。四日市市温水プール整備について
伊世 利子	。	「四日市市犯罪被害者等支援条例」策定から現状と今後の課題 ～困っている人に気づき、伴走支援ができる四日市へ～ 。市民窓口サービスセンター（近鉄四日市駅高架下）のこれから 。在宅介護支援センターの役割について
後藤 純子	。	北勢地方卸売市場について
小田 あけみ	。	若者の地域参画について ～子どものころから地域活動に関わることで、将来の「地域の 担い手」を育てるシステムを作ってはどうか？
村山 繁生	。	S V リーグ参入をめざし、呼称を「ヴィアティン四日市」と変更したバレーボールチームを 支援する四日市市の本気度を問う
竹野 兼主	。	公共施設における避難場所としての安全確保について 。市立四日市病院の未来について
加納 康樹	。	教育するなら四日市、と言い続けるのなら…
谷口 周司	。	市民の声をカタチに！！ ～今こそ、市民の生命と財産を守る対策を～
早川 新平	。	新たな防災気象情報の運用開始について 。行政の継続性と無 ^{ひょう} 謬性は
山田 知美	。	こどもと女性に選ばれるまちづくりについて
辻 裕登	。	今後の公立園の在り方 ～民営化も含めた検討～ 。J R 四日市駅 自由通路設置構想の進 ^{しん} 捗 ^{ちやく} 確認 。選挙時の電子投票（タッチ選択式）の導入について
今村 厚美	。	プロスポーツをもっと身近に 。支援が必要な方の生活を支える（福祉事業者の視点から）
田中 徹	。	知と交流の拠点施設整備事業について 。歩道における自転車の安全利用と本市の交通安全教育について
水谷 一未	。	子宮頸 ^{けい} がんの予防と早期発見の充実について 。高齢者のペットをめぐる課題と終活支援について
小林 博次	。	中央通りの再整備で「裏通りの再整備」は進んでいるのかについて 。市内に設置されている「アーケード」の対策について 。下水道汚泥から肥料用「リン」の回収について
太田 紀子	。	熱中症対策に必要な支援を 。孤独・孤立対策推進法と重層的支援体制整備事業について
村上 暁	。	四日市市職員の女性管理職について 。有機フッ素化合物（P F A S）について

一般質問から

一般質問は、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめます。

6月定例月議会は、25人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁をご紹介します。

- ・質問等の詳細については、市議会ホームページの「インターネット録画中継」または「会議録（次の8月定例月議会ごろに公開予定）」をご覧ください。

（※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）

高齢者福祉

終活から死後事務まで丸ごと支える体制を



公明党
やまぐち ともや
山口 智也



議員 身寄りのない高齢者が増える中、孤立を防ぎ、安心して暮らせる地域づくりが必要である。こうした中、市は高齢者終活支援事業を始めているほか、四日市市社会福祉協議会（以下、市社協）が行う日常生活自立支援事業の拡充や、入院・入所の手続きから死後事務までを一体的に支援する社会福祉法等の改正が進められている。市が全体の制度設計を主導し、市社協との役割分担の整理が必要ではないか。

健康福祉部長 身寄りのない高齢者の増加は大きな課題であると認識している。課題の解決には、市社協をはじめ関係機関との連携が不可欠であり、市社協との協議を重ねていく。

議員 関係機関をはじめ、地域や民間事業者等

とも連携し、多様な主体が役割を分担しながら、本人の意思決定を尊重しつつ、一体となって支援する多層的な支援ネットワークをどのように構築していくのか。また、孤立を未然に防ぎ、地域全体で支える仕組みの早期実現に向けた市長の決意を確認したい。

健康福祉部長 法改正による国の動向や先進事例を注視し、切れ目のないサポートを提供できるよう、今後の民間事業者等との連携を見据えた多層的な体制づくりを検討していく。

市長 身寄りのない高齢者の孤立を未然に防ぎ、地域のつながりのなかで最期まで自分らしく暮らせる四日市市の実現に向けて、市社協や関係機関とのネットワークの構築を目指す。

防災

人口減少社会におけるフェーズ・フリーの推進



公明党
あらい みゆき
荒木 美幸



議員 国は「フェーズ・フリー（※）」の考え方を、新設する「防災庁」の基本方針に反映する方向を示しているが、現行の市の総合計画にはフェーズ・フリーの考え方が十分に取り入れられていない。今後、国が財政支援を打ち出すことも想定し、フェーズ・フリーの考えを次期総合計画に盛り込むべきではないか。

政策推進部長 フェーズ・フリーの考え方は国や県をはじめ、全国的に広がりつつあると認識しており、本市でも各部局がそれぞれの分野においてフェーズ・フリーの考え方を取り入れた施策に取り組んでいる。今後、フェーズ・フリーの考え方が本市の施策により一層浸透するように次期総合計画の策定に向けて検討していく。

議員 災害時の避難所では、トイレ環境の確保が重要である。単に簡易トイレ等の備蓄だけでなく、し尿の収集運搬体制や処理施設の能力と連携させた、部局横断による「災害時トイレ運用計画」を早急に策定すべきではないか。

危機管理統括部長 避難所のトイレをスムーズ

に運用していくためには、具体的な計画が不可欠である。関係部局と連携して1年後の完成を目指し策定を進める。

関連質問（樋口博己議員） 令和9年度当初の計画策定を目指し、定期的に関係部局が一同に会する会議を行うべきではないか。

危機管理統括部長 関係部局が集まる会議を設け、議論を重ねていく。



「フェーズ・フリー」の視点が見える化した本市のトイレトラック

※ 身のまわりにある物やサービスを、日常だけでなく、非常時にも役立てることができるという考え方

英語教育

本市の英語教育のさらなる充実を



公明党
もり ともこ
森 智子



議員 子どもの英語習得は将来の選択肢を広げる一方、親の経済力による学習機会の格差が将来の収入格差につながる懸念が指摘されている。子どもが等しく英語力を育む環境整備が重要である。英語の学習意欲向上には、英会話などアウトプット体験の十分な確保が効果的とされている。生徒に十分な会話量を確保するため、一人一台タブレットを用いて、生徒と外国人講師がオンライン上で、一対一で英語を学習する方法を導入する自治体も増えている。外国人指導助手の派遣と比べ費用対効果も高く、すべての子どもたちが活用できる効果的な手法であり、本市でも導入してはどうか。

教育長 本市では、英語を母語とする英語指導

員であるYEFを採用し、英語教員と協働した生きた英語に多く触れる環境を整えている。すべての生徒にYEFと一対一での対話の機会を設けたり、授業外でもさまざまな場面で生徒と日常的に英語で交流したりするようにしている。加えて、デジタル教科書の活用を積極的に進めるとともに、YEFによる対面でのコミュニケーションを今後も充実させる。また、一人一台タブレット端末を生かした英会話については、AI技術の急速な進展によりさまざまな教材が開発されており、AIを活用した学習ツールなども含め、さまざまな学習方法を研究していく。

議員 対面での英語教育の意義は理解するが、より効果的な手法についても検討してほしい。

人 事

職員の働く意欲を高める取り組みについて



政友クラブ
かみ り
上 麻理



議員 全国の地方公務員試験の受験者数は過去10年間で28%減少し、今後人員不足が深刻化していく。市民サービスの低下が懸念される中、職員が働き続けられる環境づくりが急務である。市職員の休職の現状を確認する。

総務部長 育児休業の取得者が増加しているほか、病気で休職している職員も一定数おり、行政運営を安定的に継続できるよう、実働職員数の確保に努めている。

議員 病気等で期間が不明な休職者が出た際に、職場に残っている職員に負担が生じているように思うが、どのような対策をしているのか。

総務部長 まずは、課内で業務の平準化を図り、その状況に応じて、部内まで広げて人員配置や

業務分担の調整をしている。

議員 休職や離職を防ぐためには、今いる職員が四日市市役所で働き続けたいと思える環境づくりが大切である。職員の思いを把握し、働く意欲を高めるために、どのような取り組みを行っているのか。

総務部長 職員アンケートによる現状把握や、人事評価制度の運用など仕事への意欲を高める取り組みを実施している。引き続き、職員一人ひとりがやりがいと誇りを持って、職務に励むことができる環境の整備を進めていきたい。

議員 休職者や退職者が増えている現状を認識し、市民サービスの向上に意欲を持って取り組める環境づくりを研究してほしい。

防災・交通

視認性の高い案内表示と駅周辺の環境改善を



政友クラブ
さい きぬよ
笹井 絹予



議員 JR四日市駅前の避難場所への案内看板は文字や地図が色あせており、災害時の迅速な避難に支障をきたす恐れがあるが、現状と今後の対応を確認したい。また豪雨災害の教訓からも、夜間や悪天候時でもさまざまな避難者が迷わず安全な場所へ避難できるよう、多言語対応を含め、確実に誘導するための案内表示の改善について市の方針を問う。

危機管理統括部長 駅前の劣化が進む古い案内看板は撤去し、今後は中央通り再編整備事業に併せ、案内表示の整備を進める。市内の防災看板(※)は職員が巡回点検し、優先度の高いものから更新している。新看板にはピクトグラムや反射シート、英語併記を採用し充実を図る。

議員 レンタサイクルポートJRは、JR四日市駅から市内各地へ移動するための交通結節点だが、夏の猛暑や冬の寒さの対策が不十分である。空調設備の設置を含めた施設環境の整備とJR四日市駅周辺のまちづくりを踏まえた自転車の利用環境の向上について確認したい。

都市整備部長 建物の構造上、空調設備の設置は難しく、スポットエアコン等で対応している。今後も指定管理者と連携し、適切な施設管理による利用者の利便性とサービス向上に努める。

都市整備部計画担当部長 駅周辺のまちづくりの効果をまちなか全体へと波及させ、回遊性を生み出していくため、安全で利便性の高い自転車通行空間の整備を着実に推進していく。

※ 地震や津波、洪水などの災害時に、避難場所や避難経路を住民や訪問者に分かりやすく示すための案内板

産業・市民生活

原材料、資材不足への本市への影響は



政友クラブ
森川 慎
もりかわ まこと



議員 中東情勢の緊迫化に伴い、原油や原油から精製されるナフサなどの供給不安から、これらを原材料とするプラスチックや塗料などのさまざまな資材の不足が深刻化しており、コンビナート企業を抱える本市への影響は大きいと考える。コンビナート企業や中小企業、市民生活にどのような影響がでているのか確認したい。

商工農水部長 現時点でコンビナート企業には、一定程度の原材料の備蓄や調達の見込みがあるため、稼働率は大きく低下していない。また、中小企業については、件数は多くないが、市や県、商工会議所の相談窓口へ、塗料や燃料の不足、価格高騰に関する相談が寄せられている。

市民生活部長 市指定ゴミ袋の不足している状

況を報道等で把握しているが、現時点で市の市民生活相談窓口に、市民からの直接的な相談は寄せられていない。

議員 本市は中央通りの再編事業をはじめ、多くの公共事業を抱えている。資材の不足や価格高騰により、公共工事が計画通りに進まなくなっているとの報道もある。原材料不足による本市の公共事業への影響を確認したい。

政策推進部長 一部の公共事業では、工期や納期に影響を受けており、今後、建設資材の調達遅延や価格高騰の可能性はある。引き続き、国からの情報発信を注視し、適切に対応していく。

議員 必要な情報は市と議会が共有しながら、議会としても対応していきたい。

高齢者福祉

高齢者相談体制の在り方と人員不足への対応を



政友クラブ
森 康哲
もり やすのり



議員 本市の高齢者相談体制は、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、市が連携する独自の三層構造を維持してきた。しかし体制構築から20年が経過し少子高齢化が進む中、介護職の人員不足は極めて深刻で、体制の維持が危ぶまれる。現状を踏まえ体制の見直しをどのように進めていくのか。

健康福祉部長 本市では高齢者の地域の初期相談窓口である在宅介護支援センター、困難な事案等の後方支援を行う地域包括支援センター、両センターの指導・評価を行う市による三層構造の相談体制を取っている。本市の高齢者施策の課題検討を行う長寿社会づくり懇話会の下に、令和7年度から地域包括支援センター部会(以下、

部会)を立ち上げた。今後、部会において三層構造の在り方や介護専門職の人員不足等の課題を専門的に検討していく。

議員 介護職の人員不足に対応するため、在宅介護支援センターの適正な配置を整理していく必要がある。例えば、地域包括支援センターの増設で市全体を包含し、高齢者の多い地区を在宅介護支援センターが補完するような、新たな相談体制を構築してはどうか。

健康福祉部長 在宅介護支援センターは地域に根差した身近な相談窓口であることを踏まえ、相談支援体制の在り方等を部会で議論していく。

市長 本市の体制は強みである一方、人材不足も顕著なため、部会で議論を重ねたい。

環境

P F A S 汚染対策に新たな特別措置法の制定を



政友クラブ
須 智之
おぎ す



議員 国の水質管理目標値を下回るものの、本市の水道水からもPFAS(※1)の一種であるPFOS・PFOAが検出されている。独自に国よりも厳しい基準を設ける自治体もあるが、本市も検討してはどうか。また、汚染源と疑われる地点の実態把握を行う考えはあるか。

上下水道局管理部長 これまでも水道水でのPFOS・PFOAの検査結果は、すべて国の基準値を下回っており、安全安心な水道水を供給できている。今後も国の基準値に沿い管理を行い、独自の基準を設ける必要は無いと考える。

環境部長 国の基本方針に従い、市民への周知を図り、水質モニタリングを継続するとともに、河川での追加の水質調査を実施していく。

議員 地下水への汚染を防止する遮水壁の設置などの対策には多額の費用が必要となる。過去に本市で発生した大規模な産業廃棄物の不適正処理事案は、特別措置法に基づく国の支援の下、対策が実施された。PFOS・PFOAによる汚染についても、国の財政支援を伴う新たな特別措置法の制定を国へ要望すべきではないか。

市長 全国市長会(※2)で、PFOS・PFOAの対策と自治体の取り組みに対する財政支援等を国に求める提言を採択した。今年度は本市が全国市長会の副会長を務めており、特段の措置を講じるよう国へ強く要望していく。

議員 国の財政支援が制度化されるよう、市として取り組みを進めてほしい。

※1 工業的に作られる有機フッ素化合物の総称。代表的なものとして、PFOS・PFOAがある

※2 全国各市間の連絡協同を図り、市政の円滑な運営と進展に資することを目的とする全国の市長等で構成される組織

市立図書館

市立図書館の故障した空調設備について



政友クラブ
いとう つくや
伊藤 嗣也

議員 市立図書館の空調設備が故障し、多くの行事が中止となっている。利用者や職員の安全確保のため、本格的な夏を前に修繕が急務である。この緊急事態をどう乗り越えるのか。

副教育長 現在、冷風扇を設置するなどの対策を行っており、代替となる冷房機器のレンタルも検討している。利用者や職員の熱中症対策にも配慮しながら、一刻も早い復旧に全力で取り組みたい。

議員 空調設備の故障について、市民への周知が不十分であり、徹底すべきである。市民が安心して利用できる環境整備への早急な対応を求める。次に、今回の故障は新図書館の建設が決まっていなくてもかわらず長期修繕計画から除外し、耐用年数20年の空調設備を25年も使用していたことが原因ではないのか。現図書館の修繕計画が必要ではないか。

財政経営部長 図書館は将来的な移転等を見据えて、長期修繕計画から除外している。一方で四日市市公共施設個別施設計画において、図書

館サービスを継続して提供できるよう、保守点検や必要な修繕を実施することとしている。

議員 空調設備の部品は特注で修理には多額の費用と長い期間が必要となる。子どもやお年寄りをはじめ、職員や市民の誰もが安心して過ごせる環境を確保するため、緊急措置として予備費を充用して冷房機器をレンタルするなど、速やかに対策を講じることを強く要望する。



市立図書館の空調設備故障の張り紙

スポーツ

ヴィアティン四日市を支援する市の本気度を問う



フューチャー四日市
むらやま しげお
村山 繁生

議員 国内最高峰のバレーボールリーグ「SVリーグ」参入を目指すヴィアティン四日市は、選手の多くが市内の企業に勤める、まさに「チーム四日市」である。市と関わりのあるチームの活躍は市民のシビックプライド醸成に有効だが、本市はどのような支援を考えているのか。

シティプロモーション部長 大型映像設備の設置等のアリーナ整備やホームゲーム開催日数の確保など、SVリーグへの参入条件を満たすための支援を検討している。

議員 「オール四日市」で昇格を後押しするには、市民の機運醸成が不可欠である。観光大使でチームの事業副部長の宮下遥さんにチームと市のPRに一層協力してもらってはどうか。

シティプロモーション部長 市民の認知度向上や機運醸成に向け、宮下遥さんをはじめヴィアティン四日市には、これまで以上にイベント等への参加の協力を打診していきたい。

議員 昇格が実現した場合、市民と市にもたらされる効果について、どのように考えているのか。

そして、今後の支援について市長の力強い決意を聞かせてほしい。

シティプロモーション部長 市民のスポーツへの関心やシビックプライド醸成につながり、経済波及効果は年間約5億1000万円と見込んでいる。

市長 まちづくりにおいてスポーツは非常に重要である。ヴィアティン四日市の昇格に向け、市としてできる限りの支援を行っていく。



呼称変更式典にて森市長と記念撮影する「ヴィアティン四日市」

犯罪被害者支援

四日市市犯罪被害者等支援条例の現状と課題



フューチャー四日市
いせ りつこ
伊世 利子



議員 本市は「犯罪被害者等支援条例」を制定し、犯罪被害者とその家族に寄り添い、継続的に支援しているが、現状と課題を確認したい。

市民生活部長 市では犯罪被害者等への支援金のほか、日常生活などを支援するための給付金を給付している。また、多様なニーズに合った支援を円滑に提供することが課題と考えている。

議員 犯罪被害者支援コーディネーターが中心となり継続的に支援できる体制を整えてほしい。三重県の「性暴力の根絶をめざす条例」では、市の責務として、住民理解の促進や啓発が求められている。市として条例の実効性を高めるためどのような協力をしていくのか。

市民生活部長 性暴力の根絶をめざす条例に基

づき、県が策定中の基本計画の内容を踏まえ、積極的に協力する。性暴力に限らず犯罪被害者等支援全般について、今後も県と連携していく。

議員 暴力やハラスメントを傍観せず、第三者が介入、支援する「アクティブバイスタンダー」の概念がある。暴力、犯罪への抑止力を強めるため、市民向けの研修を実施してはどうか。

市民生活部長 現在、市で実施している市民向けの犯罪被害者等支援講演会や職員向けの庁内研修にアクティブバイスタンダーの視点を取り入れる検討をしていきたい。

議員 犯罪被害者に寄り添い、個人の尊厳を守ることが市の使命である。市民の理解が深まるよう、研修や広報啓発活動に取り組んでほしい。

北勢地方卸売市場

食品流通の基盤となる北勢地方卸売市場の再整備を



フューチャー四日市
ごとう じゅん
後藤 純子



議員 民営化された北勢地方卸売市場（以下、市場）については老朽化が進む中、昨年度2回開催された、桑名市、鈴鹿市と行った再整備に向けた勉強会の成果と今後の検討内容を確認したい。

商工農水部長 勉強会では青果物の市場経由率の高さから市場の重要性を再確認した。今後も関係3市で連携し、再整備への関わり方について調査検討を進める。

議員 市場の今後の在り方について、三重県へどのように意向確認や働きかけを行うのか。また、再整備に必要となる国の補助金を確保するため、食品等流通合理化計画を作成し、国補助事業を活用する考えはあるか。さらに、持続可

能な流通の実現を目的とした共同物流効率化事業に市内の事業者が参画していることの見解を問う。そして、再整備に向けた取り組みに対する総括を求める。

商工農水部長 関係3市で連携し、市場の今後について県の考え方を引き続き確認していく。また、再整備の方法や実施主体については現在議論している状況であり、まだ食品等流通合理化計画を作成する段階ではないが、今後は先進事例も参考に議論を重ねていく。併せて、共同物流効率化事業の動きも注視していく。

荒木副市長 乗り越える課題は多く、どのような支援ができるか関係者を交えて協議を進めていく。

地 域

若者の地域参画で持続可能なまちづくりを



フューチャー四日市
おだ あけみ
小田あけみ



議員 地域の市民活動団体は高齢化や担い手の不足が深刻化している。これは単に団体の問題ではなく、地域コミュニティの維持に関わる問題である。市は現状をどのように捉えているか。

市民生活部長 市民活動の弱体化による地域力の低下は、深刻な課題だと認識している。これまで取り組んできた「地域づくりマイスター養成講座」に加え、若い世代が市民活動に興味を持ち、地域づくりに直接関わることができる仕組みづくりに取り組んでいく。

議員 子どもの頃から地域課題の解決に関わってもらうことで、将来の地域を担う人材を育成し、人材の好循環を生み出す仕組みが必要だと考える。橋北中学校の防災部は学校教育の一環とし

て中学生が地域と関わる特色ある事例だが、他の中学校でも同様の事例はあるのか。また、市として若者が社会参画することの意義をどのように認識しているのか。

教育長 市内すべての公立中学校で、地域の特色に応じた防災や環境保全などの地域活動への参画が進んでいる。また、教室での学びを基盤としつつ、地域に出て体験的に学ぶことは、主体性の向上や課題との向き合い方、社会の一員としての自覚を育む効果がある。今後も社会とのつながりを意識した教育を推進することが、若者の地域参画につながると考えている。

議員 地域活動を通じ、若者が地域に愛着を持ち、将来は地域の担い手となることを期待する。

市立四日市病院

経営改善と新病院建設の進捗状況を問う



フューチャー四日市
たけの かねゆき
竹野 兼主



議員 地域医療の要であり、市民の期待が非常に大きい市立四日市病院は、物価高騰や人件費上昇等により令和7年度補正後予算の赤字が26億円台となるなど、厳しい経営状況に直面している。このような大幅な赤字となった原因と、今後の経営改善策について問う。

病院事業副管理者 コロナ禍以降の患者数減少による収入の低迷に加え、人件費・材料費等の上昇、情報セキュリティ強化等運営コストの増加が主な原因である。対策として、職員数の見直しをはじめとする重点的取り組み推進項目、診療報酬の加算取得の検討等を行う経営改善プロジェクト、物品売却等を行う経営改善事務局会議の3つの柱で収支の改善を図る。

議員 減少した患者数の回復には市民から選ばれる病院づくりが必要不可欠であり、入院環境の向上や待ち時間短縮など、患者の意見を取り入れた改善を行うべきである。また、経営基盤の安定化を踏まえ、施設が老朽化し目標耐用年数を迎える令和20年に向けた新病院への建て替え検討について、進捗状況を確認したい。

病院事業副管理者 学識経験者等による病院あり方検討委員会を設置し、将来の方向性の議論を開始した。県が令和10年度中を目途に策定する新たな地域医療構想を注視しつつ、高度医療等を切れ目なく提供できるよう着実に進める。

議員 新病院計画は、市民の安心のためにもスピード感を持って進めてほしい。

市政運営

市民の生命と財産を守る対策について



新風創志会
たにくち しゅうじ
谷口 周司



議員 本市の子どもの体力、運動能力の低下には、自由に遊べる場所の減少や生活環境の変化が影響していると考えます。子どもの体力、運動能力を向上させるため、自然と体を動かしたくなる環境づくりに取り組むべきではないか。

教育長 学校では、子どもたちが日常の中で自然と体を動かす環境づくりを進め、運動時間の増加を図っている。今後も、学校施設の活用について関係部局や地域と連携を図るなど、子どもの運動機会の確保に努める。

議員 坂部が丘団地において、利用が低下している公園を再編・集約し、地域の多世代にわたるニーズに合った魅力的な公園整備が行われた。非常に素晴らしい成功事例であるが、今後、他

の郊外住宅団地にどのようにつなげていくのか。

都市整備部長 この事業は、子育て世代の定住促進や誰もが快適に暮らせるまちへの再生に向けて、総合計画にも位置付けている。整備には一定規模の土地が必要となるため、候補地の確保など環境が整えば、必要な調査から取り組む。

議員 本市は県内でも犯罪件数が多く、市民の防犯意識向上と行政の支援強化が急務である。全国の自治体で広がりつつある個人住宅向け防犯カメラ補助制度を創設してはどうか。

市民生活部長 個人住宅向け防犯カメラは、近隣住民のプライバシー保護など課題が多いが、他自治体の導入事例を踏まえ、防犯効果や運用ルールなど多角的な情報収集に努めたい。

運 河

行政の信頼回復と住吉運河の埋め立て再開を



新風創志会
はやかわ しんぺい
早川 新平



議員 四日市港管理組合（以下、管理組合）は平成18年に防災上の観点から住吉運河の埋め立てを計画し、市も平成26年11月定例月議会で埋め立ての必要性を答弁した。その後、管理組合が運河の埋め立てではなく、水門の耐震補強と護岸の維持補修の方針を示し、市もこの方針に変更した。方針変更に至った経緯を確認したい。

政策推進部長 管理組合が、埋め立てについて地域の同意を得られず、地域住民の安全、安心を担保する手法として、埋め立てを行わない代わりに、水門の耐震補強及び護岸の維持補修による方針を平成28年3月管理組合議会にて示したことから、本市も方針を変更したものである。

議員 令和8年2月、富洲原地区市民センター

において、知事印のある念書の原本が60年ぶりに確認された。これまで県は公印がないことなどから、公文書として疑義があるとしていたが、念書が市の施設で確認されたことを踏まえ、県や地域へどう対応したのか。

政策推進部長 念書は県の公文書であるが、従来の県議会の答弁に変更はないとの回答が県からあった。念書の発出者である県が判断したものについて、本市が県や管理組合の今後の対応を地域に説明する立場にはないと認識している。

議員 管理組合の副管理者である市長は、県や管理組合に対し、運河の埋め立てなどによる地域の安全・安心の確保や、地域との信頼関係の回復に努めるよう、助言すべきである。

教育

不登校支援と非常勤講師の処遇改善を



フューチャー四日市
かのう やすき
加納 康樹

議員 フリースクールは不登校の児童生徒にとって社会とつながる大切な居場所である一方、利用料が保護者の大きな負担となっている。利用料に対し独自に補助制度を設けた伊賀市を参考に不登校問題に民間の力を活用するため、本市も早急に補助制度を創設すべきではないか。また、子どもの不登校に悩む保護者に対して必要な支援につなげるための情報提供の仕組みも必要ではないか。

教育長 フリースクールには明確な定義がなく、運営形態や活動内容が多様で、一律の補助には課題がある。フリースクールにかかる補助だけを切り離して考えるのではなく、不登校児童生徒への学びの機会の保障と居場所の提供について総合的に整理をする時期と考えており、先行する県の実績や成果、他自治体の動向を注視しながら検討を進める。また、支援を求める保護者への情報提供について、ホームページを分かりやすく見直すとともに、ワンストップ型相談会等の場で必要な支援や情報提供に努める。



議員 小中学校の非常勤講師の給与は授業時間と授業時間外で時給に差がある。生徒指導などで子どもと関わる場合、授業時間外であっても、単価の高い授業時間の時給と同等の金額を支給すべきではないか。

教育長 非常勤講師が子どもと直接関わる業務などの授業外活動に関しては、学校現場の実態を踏まえ、処遇の見直しを検討する。



不登校の児童生徒への支援が求められる

商店街

老朽化したアーケードの耐震化と抜本的な支援を



市民目線の会
こばやし ひろつぐ
小林 博次

議員 中心市街地の商店街のアーケードは根元の腐食や雨漏り等が見られ、老朽化が著しい。アーケードには建築基準法に基づく耐震基準が適用されるが、一部には昭和39年頃に建設されたものもあり、昭和56年6月施行の新耐震基準を満たしていないものもあるため、耐震診断と耐震補強の実施が必要ではないか。

商工農水部長 中心市街地のアーケードは、最も新しい施設でも設置から30年近く経過し、老朽化が進んでいる。昨年度実施した調査において、アーケードはにぎわいの創出や雨天時の利便性向上といった地域コミュニティを支える重要な生活インフラであり、ほとんどの商店街組織がアーケードの維持を希望しているが、自主財源での抜本的な改修は非常に厳しいという実態を確認した。市として、アーケードが商店街を構成する重要な要素であることや、その高い公共性を鑑み、アーケードの所有者である商店街組織が実施する耐震診断や、その後の大規模改修に対応できる新たな補助制度の創設など、抜本的な

支援策を検討したいと考えている。今後も中心市街地の魅力向上に向け、商店街組織と協議を重ねながら取り組みを進める。

議員 アーケードの改修について、抜本的な対策を検討することを評価する。アーケードの維持に必要な費用負担の在り方や、市内のすべてのアーケードを点検し、安全対策を進めることも検討してほしい。



中心市街地のアーケード



若者支援

子どもの悩みを受け止め、支援につなぐ取り組みを



新風創志会
やま とも み
山田 知美



議員 全国で整備が進む「ユースセンター」は、若者が普段から気軽に立ち寄り、自分らしく過ごせる場所であり、切れ目のない伴走支援によって、学校や家庭などでは把握しきれない小さなSOSを受け止め、適切な支援につなぐ役割も期待されている。本市も子どもたちがアクセスしやすい中心市街地に整備する考えはないか。

こども未来部長 四日市市こども計画では、子どもの居場所づくりを重点施策に位置付けている。その中で、高校生年代が自由に過ごせる場所として中心市街地に「ヤスジマベース」を開設しており、スタッフが利用者と交流する中で悩みや課題を受け止め、専門の相談機関へつなぐ役割を担えることが分かった。今後も子どものニ

ズに応じた多様な居場所づくりを進める。

議員 子どもの居場所だけでなく、適切な支援につなぐ機能についても調査研究してほしい。次に、家庭と距離を置きたいという子どもを一時的な休息であるレスパイトにつなげられるよう、ショートステイ事業に関し、未利用の公的施設や民間の宿泊施設等の活用を含めた事業の拡充が必要ではないか。

こども未来部長 子ども自身が一時的に保護者から離れた場合、保護者の同意のもと児童養護施設でショートステイできる体制が整っているが、利用者の選択肢を増やすという視点から、里親やファミリーホーム(※)での事業実施について、引き続き調査研究を行う。

※ 里親等の県知事に認められた者が、さまざまな事情で家族と暮らせない子どもを複数人迎え入れ、温かな家庭的環境の中で養育するもの

都市開発

J R 四日市駅への自由通路設置構想の進捗は



新風創志会
つじ ひろ と
辻 裕登



議員 JR四日市駅に整備予定の自由通路について、令和5年5月の^{しんちよく}議員説明会で整備方針が示されたが、その後の進捗状況や完成時期を確認したい。

都市整備部計画担当部長 自由通路の設置位置等について、鉄道事業者との調整に時間を要しており、現段階で事業合意に至っていないことから、完成時期を示すことはできない。

議員 完成時期が未定となれば、令和14年度開学を目指す大学設置が遅れるなどの影響はあるのか。また、災害時の避難や利便性を考慮し、国道23号の手前から上り下りできる昇降口の設置や、大学整備に伴い移転が必要となる現駅舎の建て替えはどうなるのか。

都市整備部計画担当部長 自由通路の計画と大学整備を切り離すことで開学時期への影響はない。昇降口は自由通路の起終点に加え、中間部分についても検討していく。現駅舎は解体し、新たな駅舎は、使用されていない線路を廃止の上、その廃線敷に建築する計画である。

議員 自由通路から港方面に行きたくなるような目的物が必要と考える。港周辺への民間投資を促す政策や、アクセス性の課題解決など行政はどのように考えているのか。

政策推進部長 令和3年策定の四日市みなとまちづくりプランに基づき、賑わい拠点の創造や回遊性の向上など、中心市街地の賑わいが港へつながるよう、引き続き取り組みを推進する。

知と交流の拠点施設

市民がつながり、ともに育つ交流の場を



市民目線の会
た な か とお る
田中 徹



議員 知と交流の拠点施設整備事業は、巨額の費用を投じる反面、機能整理や市民参画等について議論が不足していると感じる。新施設に盛り込む機能をただ積み上げるのではなく、図書館と子育て支援施設、交流広場を1つの建物内で立体的につなげた茨木市の複合施設「おにクル」のように、本市も核となる機能を絞り既存施設との重複整理を進めるべきである。加えて、整備段階から市民参加を本格導入する仕組みを構築してはどうか。また、「おにクル」の「まちなかの森もっくる」のように、雨の日でも外遊びができる屋内施設を導入してはどうか。

政策推進部長 新しい施設では、滞在型図書館を核とし、ホール等の多世代交流機能、カフェ等

の憩いの空間、情報発信機能の各機能が融和する施設を目指す。新設する小規模ホールは既存施設と座席数の規模が異なることなどから、使い分けが可能である。今年度ワークショップを開催し、図書館とホールなどの複合施設となる点を中心に意見をいただき、基本設計に反映する。本施設には、「まちなかの森もっくる」のような子育て支援施設の導入予定はないが、3階の児童子育てエリアに子どもと親が同じフロアで楽しく過ごせる空間を検討していく。

議員 本市の未来を支えるのは立派な施設ではなくそこで生まれる市民のつながりだ。人が集い育ち合える環境づくりに継続して投資し、新施設が未来への希望の場となることを期待する。

がん検診

子宮頸がん^{けい}予防に向けた若い世代への検診促進を



市民目線の会
みずたに かずみ
水谷 一未



議員 子宮頸がんはワクチン接種と検診で予防と早期発見が可能である。本市のワクチンの接種率は全国と同水準の5割程度であり、ワクチンを接種していない多くの人にとって検診は命を守る最後の砦だと考えている。本市は細胞診(※1)と本人の希望でHPV検査(※2)も同時に行える「併用検診」を先進的に導入しているが、実施内容と周知について確認したい。

健康福祉部保健衛生担当部長 併用検診では検査結果がどちらも陰性であれば、次回の検診は3年後となり、両方またはいずれかの検査結果が陽性の場合、経過観察や精密検査が必要となる。また、周知については、がん検診のお知らせの冊子を全戸に配布しているほか、子宮頸がん

※1 身体から採取した細胞を観察し、がん細胞の有無や良性、悪性を判定する検査

※2 子宮頸がんの主な原因となる「ヒトパピローマウイルス」に感染しているかどうかを調べる検査

ん検診の対象者が市の集団または個別のがん検診を受診した際に窓口で受診勧奨を行っている。

議員 罹患が増加する20代後半から30代は、検診の受診率が低いにもかかわらず、受診勧奨が手薄なことが課題である。罹患のピークとされる40代を迎える前に、30歳や35歳といった「節目の年齢」に的を絞り、受診を後押しする通知や勧奨の強化を検討すべきではないか。

健康福祉部保健衛生担当部長 幅広い年齢に受診勧奨を行い、継続した受診につながるよう支援することが重要と考えている。20歳の女性への検診無料クーポン券の送付や、広報による周知など、引き続き、若い人の受診につながる効果的な方法を調査研究していく。

スポーツ

ドラゴンズ二軍誘致とヴィアティン四日市の支援は



無会派
いまむら あつみ
今村 厚美



議員 中日ドラゴンズが二軍の拠点の移転先を、東海地方の自治体へ公募することを表明し、本市も誘致に向けた検討をしている。拠点の誘致に成功すれば、全国からファンが本市を訪れることが期待できるため、市の施策との連携など、さまざまな可能性があると考え。多くの自治体に関心を示しているが、拠点誘致に向けた本市の検討状況はどうか。また、国内の最高峰のバレーボールリーグである「SVリーグ」への参入を目指すヴィアティン四日市に対する本市の協力体制を確認したい。

シティプロモーション部長 中日ドラゴンズの二軍の拠点誘致に向け、既存施設を活用する案と新規に用地を確保する案を検討したが、既存の

野球場を活用する場合、市民の野球場の利用が大きく制限されるほか、公募条件を満たすことができない。また、新規に用地確保することは難しいため、期待される経済波及効果を含め総合的に判断した結果、拠点誘致は断念せざるを得ないと考えている。一方、ヴィアティン四日市に対しては、市民の機運醸成を図りつつ、SVリーグ参入に向けてスポンサー企業獲得のめどが立った段階で、拠点となる相好アリーナ四日市の改修などの整備を行っていく。

議員 拠点誘致の断念は非常に残念である。しかし、誘致に向けた球団への提案提出の期限までまだ時間がある。最後まで関係団体とともに検討を行い、市民の期待に応えてほしい。

熱中症対策

生活困窮者に対するエアコン購入費の助成を



日本共産党
おおた のりこ
太田 紀子



議員 令和7年6月定例月議会で、熱中症対策に必要な支援について一般質問を行った。生活困窮者を対象としたエアコン購入費用の助成を実施している自治体を対象に調査し、公費負担の在り方について検討を進めるとのことであったが、現在の進捗状況を確認したい。

健康福祉部長 先に実施している28自治体に調査を行ったところ、助成額や対象世帯等の運用実態に大きな差異があった。本市の状況や実施体制と照らし合わせたところ、参考となる部分はあるが、導入に向けてはさらに検討が必要であると判断した。

議員 来年4月から新しい省エネ基準が開始されるため、低価格のエアコンが市場から消え、

価格が上昇することが確実となっている。経済的な理由でエアコンを買えない家庭にとって重大な問題である。熱中症リスクの高い高齢者世帯などに対して、エアコンの購入費を補助する考えはないか。

健康福祉部長 エアコン価格の推移も確認しながら、本市における公費負担の在り方について引き続き検討を進めていく。一方、暑さをしのぐ施設の確保を進めるとともに、熱中症リスクが高い世帯には関係機関と連携し、予防啓発や家計改善を含めた相談支援を実施していく。

議員 他の自治体には生活困窮者に対するさまざまな補助制度がある。本市もエアコン購入費用の補助を前向きに検討してほしい。

人 事

女性職員がより活躍できる職場環境を



日本共産党
むらかみ さとる
村上 暁

議員 女性の方が男性より育児休業を長期間取得することが多く、女性職員が復帰後にキャリアの差を感じるという声がある。子育てを夫婦が平等に行うという観点に立てば、男女の育児休業の期間は同じであるのが理想である。夫婦が平等に子育てを行えるように、モデルケースを示すなど、育児休業の取得期間の男女差を縮小することはできないか。

総務部長 子育てのために職員が利用できる制度をまとめた「子育てハンドブック」などで男性の育児参加を後押ししている。男性の育児休業の取得率は約7割へと増加しており、取得期間の長期化も進んでいる。今後も夫婦が協力して子育てを行いやすい制度を整備して、一層育児

休業を取得しやすい環境づくりに努める。

議員 女性の事務職員の配置は部署によって偏りがある。「男しかできない」「女しかできない」といった思い込みがあれば偏見であり、是正する必要がある。性別を問わず職員が配置される体制が市役所の発展には大切だが、女性職員の配置の偏りをどのように認識しているのか。

総務部長 各部署での性別の偏りは徐々に解消されつつあるが、家庭との両立で時間的制約のある職員と、職場の仕事の進め方とのマッチングが実現しにくい部署も一部ある。今後は、業務効率化などの働き方改革を進め、女性が多様な業務に挑戦できる機会を拡充し、所属間における男女の偏りを軽減していく。

6月定例会議会の議案に対してご意見をいただきました

一部の議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんのご意見をいただいています。主なご意見の概要は次のとおりです。



◆詳しくはホームページへ→

◆防災行政無線連動型鍵ボックス整備事業 10件

- ・防災設備の整備後は市民向けに避難訓練等を実施し、実際に使えるか確認してほしい。

◆あさけプラザ舞台関係設備更新工事費 5件

- ・舞台関係設備は年間どれくらい利用するのか。利用頻度が少ない場合、費用対効果に疑問がある。

◆生成AⅠパイロット校事業 8件

- ・指定校はどのような経緯で選ばれたのか。なるべくなら、多くの小中学校でAⅠについて学んでほしい。

◆放置自転車対策事業費 6件

- ・放置自転車の削減や公共交通との連携、市民の利便性向上などにつながってほしい。

8月定例会議会については、8月21日（金）から9月7日（月）午後5時までご意見を募集する予定です。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。皆さんからのご意見をお待ちしています。

よっかいち市議会だより#こども号を発行しました

令和8年7月、市議会に興味をもってもらうため、「四日市市議会だより#こども号」を発行し、市内の小中学校と特別支援学校に通学する児童生徒の皆さんに配布しました。

市議会ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



決 議

7月1日の本会議で、自衛官等に対する偏見及び差別助長の解消並びに理解促進を図る決議を全会一致で可決しました。決議の内容は以下のとおりです。

自衛官等に対する偏見及び差別助長の解消並びに理解促進を図る決議

昨今、自衛官並びに自衛官を目指す方々とその家族の皆様について、国民へ誤った印象を与えることが懸念される事態が生じている。

四日市市議会は自衛官及びそのご家族の名誉と尊厳が守られ、自衛隊に対する正しい理解の促進と偏見の解消が図られるよう、引き続き真摯（しんし）に取り組み、必要な対応を進めていくことを確認する。

以上、ここに決議する。

令和8年7月1日
四日市市議会

意見書

◆イラン情勢に伴う物価高騰等の対策を求める意見書（提出先：内閣総理大臣 ほか）

全員協議会を開催

5月29日、6月18日、6月26日、7月21日に議員定数について全員協議会を開催し、他市議会の状況などを調査した上で、全議員で協議を行いました。

藤波朱理選手が市議会を表敬訪問

今秋に開催される愛知・名古屋アジア大会のレスリング女子57キログ級の日本代表として出場される藤波朱理選手と関係者が6月29日に市議会を表敬訪問され、議長をはじめ、市議会議員が対応しました。

8月定例月議会 議会報告会

8月定例月議会の議会報告会は、4常任委員会が動画を作成し、市議会ホームページで公開する形で実施いたします。詳細は市議会ホームページ等でお知らせいたします。

今後の議会報告会を対面だけでなく動画配信などのさまざまな方法で開催できるよう運用を見直しました。これからも市議会の様子を分かりやすくお届けし、市民の皆さまとの情報共有を進めてまいります。

8月定例月議会の予定（日程は都合により変更する場合があります）

月	日	内容	開始時刻	月	日	内容	開始時刻
8	27(木)	本会議 初日（議案説明ほか）	午前10時	9	18(金)、24(木)	決算常任委員会全体会 *予備日は9/25(金)	午前10時
9	3(木)、4(金) 7(月)、8(火)	本会議（一般質問）		9	28(月)	予算常任委員会全体会 *予備日は9/29(火)	
	9(水)	本会議 （一般質問、質疑・委員会付託 ほか）			2(金)	本会議 最終日 （委員長報告・採決 ほか）	午後1時
	10(木)、11(金) 14(月)	各常任委員会／予算、決算各分科会 *予備日は9/15(火)		10			

※委員会は予定より早く終了する場合があります。

※一般質問の様様をCTY 122ch（サブチャンネル）で放送する予定です。

※本会議と常任委員会は市議会のホームページで生中継し、録画配信もご覧いただけます。

あとがき

今号の表紙は、市議会を表敬訪問された藤波朱理選手です。その堂々としたたたずまいと内に秘めた熱い闘志に、大きな元気をいただきました。今秋のアジア大会でのご活躍を期待しております。

広報広聴委員会（◎委員長 ○副委員長）

◎中川 雅晶 ○平野 貴之 今村 厚美
小田あけみ 水谷 一未 森 智子
森川 慎 山田 知美

発行／四日市市議会 編集／広報広聴委員会

ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号

四日市市議会事務局

Tel 059-354-8340 Fax 059-354-8304

Eメールアドレス shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページ 四日市市議会 検索